

地震活動解説書  
(臨時)

2 月 27 日から発生している千葉県東方沖の地震

千葉県東方沖を震源とする地震が活発化している。

3 月 3 日時点では、昨日までの活動と比べると静音化してきた。

2024 年 2 月 26 日 23 時より千葉県東方沖にて地震が活発となった。

気象庁会見資料「2024 年 2 月 26 日からの千葉県東方沖の地震活動の評価」にて、地震調査研究推進本部地震調査委員会によると、最大震度 4 を観測した 2 回の地震の発震機構はともに北北西－南南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生したと、位置づけた。

また、今回の地震活動に同期してプレート境界でゆっくりすべりが発生している。

1919 年以降の地震をみると、今回の地震の震央付近では M6.0 以上の地震が時々発生しており、1987 年 12 月 17 日にフィリピン海プレート内部で発生した M6.7 の地震(最大震度 5)にて被害が発生した。

以上のことより、今後も最大震度 5 弱程度の強い揺れが観測される可能性があるため、強い揺れに注意する必要がある。

○今後の地震活動における対応

今後も引き続き、千葉県東方沖に限らず強い揺れの地震が発生した際には、気象庁の会見後に発表される気象庁会見資料(地震調査委員会等の見解を含む)を踏まえたうえで、本書の通り臨時で「地震活動解説書(臨時)」を発行する。

尚、定例の解説書発表日に臨時版を発行する際は、定例の発行を中止若しくは延期し、臨時版の発行を行う。

日別地震発生回数の確認はこちら↓



最新の地震・津波情報ははこちら↓



本書で言う「最新の地震・津波情報」とは、JMA から取得した正確な情報のことを言います。